

第2学年〇組家庭科学習指導案

指導者 桑原智美 教諭 印
授業者 三浦花奈 印
日時 令和4年9月〇日〇, 〇校時
場所 東京学芸大学附属高等学校図書館

1. 題材名

「高齢社会生きる」

2. 題材の目標

高齢者の心身の特徴や高齢者を取り巻く社会問題について考えることにより、高齢期を人生の一時期として捉え、高齢期や高齢者との関わり方について自分なりに見つめることができる。

- ・高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解するとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けることができる。【知識及び技能】
- ・体験的な学びを通して、高齢者の自立生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割について認識し、よりよく生きることについて考えることができる。【思考力・判断力・表現力等】
- ・高齢者にかかわる学習を通して、高齢者に対する偏見を解消したうえで、共生社会の実現に向けた意識を持ち、自分の言葉で積極的に説明することができる。【学びに向かう力・人間性等】

3. 題材について

(1) 題材観

本題材は、高齢者の心身の特徴、社会環境、高齢者と関わる際に重要な尊厳や自立の視点、関わり方などについて理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、高齢者の生活を支えるための家族、地域社会の役割の重要性について考察できるようにすることをねらいとしている。また、高齢期について中学校学習指導要領解説技術・家庭編には、「高齢者の身体の特徴についても触れること」「高齢者の介護の基礎に関する体験的な活動ができるよう留意すること」とあり、高等学校家庭科における高齢者の介護に関する学習に繋げることが明記されている。本題材では、中学校家庭科での内容を活かし、さらに深い内容について生徒と学習していく。

(2) 生徒観

現代では、核家族化や地域住民との関わり方の減少などによって、生徒が高齢者と関わる機会が少なくなっている。その一方で、日本は超高齢社会に突入し、生徒が大人になるにつれて高齢者は増加していくという現実がある。これらをふまえ、地域社会での高齢者との関わり方について戸惑う生徒もいるのではないかと考える。よって、本題材で得られた学びを通して、高齢者を自分の延長線上にいる者としてつながりを持って捉え、高齢期の心身の特徴や高齢者を取り巻く社会環境について知り、尊厳を大切にしながら温かい心を持って関わるができるようになる。

(3) 指導観

この題材では高齢者や高齢社会について、生徒が自分に落とし込んで考えられるように丁寧に指導する必要がある。相手の立場に立って考えるということは、高齢者に限らず、どのような相手と関わるにあたって大切なこととなる。高齢者については自分や家族に限らず、社会という大きな視点で捉え、学習していくことが、現代、そして未来を担う生徒にとって重要なことである。また、正しい知識を持たずに高齢者と関わることは、相手を傷つけ、コミュニケーションにつまずく原因の一つとなると考えられる。そのため、高齢者との関わり方を知り相手の立場を考えることで、高齢者について理解し、互いに尊重し合える共生社会に向けた意識づくりを促す。

4. 指導計画（全2時間）

| 次 | 時 | 小題材 | 内容 |
|---|---|-----------------|----------------------------------|
| 1 | 1 | 高齢者について考えよう（本時） | 高齢者の心身の特徴や社会環境について調べ、高齢者について考える。 |
| | 2 | 車いす体験をしよう | 車いすに乗ること、車いすを押すことを体験する。 |

5. 本時について（第1次1時間目「高齢者について考えよう」）

(1) 目標

高齢者に関心をもち、身の回りの人々に視点を広げ、高齢期の生活を考える。

(2) 展開（40分）

| | 学習内容 | 時間 | 生徒の学習活動 | 指導上の留意点 | 教材・教具 | 評価 |
|----|--------------------------|-----|--|--|---|----|
| 導入 | ・それぞれのテーマと視点について簡単に説明する。 | 5分 | ・グループやテーマの内容について確認する。 | ・模造紙に記入した問いをホワイトボードに掲示する。 | ・模造紙 ・ホワイトボード ・付箋紙 ・付箋紙貼り付け用台紙 | |
| 展開 | ・情報を活用しながら、考えをまとめる。 | 25分 | <p>・与えられたテーマについて文献とインターネットによる情報を組み合わせて調べる。</p> <p>Q1. 父は田舎で一人暮らしをしている。マイホーム購入を機に東京へ呼び寄せようか迷う。 (バリアフリー、孤独死、三世帯同居、家庭内事故)</p> | <p>・図書館で授業を行うという環境を十分に活用するため、館内にある図書もすすんで活用するようにする。</p> <p>・加えてタブレット端末も使用する。しかし、インターネットか</p> | <p>・筆記用具 ・個人用PC ・図書資料 ・ワークシート ・教科書 ・資料集</p> | |

| | | | | | | |
|------------|-------------------------|------------|--|--|---------------------------|---|
| <p>まとめ</p> | <p>・グループごとに情報を共有する。</p> | <p>10分</p> | <p>Q2. 祖父が認知症に。家族は、こんな時どうする？（BPSD、物忘れ） Q3. 最近、祖母の食が細くなり、栄養状態が心配である。（フレイル、骨粗鬆症、健康寿命） Q4. 定年を迎え、経済面での不安がある。（年金問題、社会保障、介護保険制度） Q5. 高齢期の生活を支えるテクノロジーとは？（介助ロボット、AI、ジェロンテクノロジー） ↓ Q5. 高齢の母親がデイサービスには行きたくないと言う。（介護保険、介護サービス、老老介護） （ ）内はキーワード</p> <p>○問いに対して、グループで分担して考える。 ○問題が難しい場合や何を調べたらよいか分からない場合には、教師が用意したキーワードを基に調べ学習を行い、高齢期への理解を深める。 ○グループごとに、自分が知り得た情報を共有し、問いに対してよりよい回答を考える。 ○グループごとに発表を行う。自分とは異なる意見を参考にする。</p> | <p>ら知り得た情報に関しては、信用できるものかどうか十分に注意する。 ・付箋紙にメモを取りながら考えをまとめるよう指示する。</p> <p>・生徒から出なかった内容については、教師がまとめる際に追加で説明する。 ・車椅子体験につながるようにまとめる。</p> | <p>・模造紙 ・ホワイトボード</p> | <p>・高齢者の心身の特徴や高齢者を取り巻く社会環境について理解しているか。 ・高齢者の</p> |
|------------|-------------------------|------------|--|--|---------------------------|---|

| | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|-------------------------------------|
| | | | <p>○ワークシートに感想を記入する。</p> <p>○使用した本や付箋紙などはまとめて机の上に置いておく。</p> | | | <p>現状を正しくとらえ、自分に落とし込んで考えられているか。</p> |
|--|--|--|--|--|--|-------------------------------------|

6. 参考文献

NHK NHK 福祉情報サイト ハートネット 「家族は、こんな時どうする？ 認知症 Q&A 基本編 ケーススタディ編」(2022 年 9 月 21 日閲覧)

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/>

NHK NHK 福祉情報サイト ハートネット 「認知症 Q&A 基本編③ 家族が認知症と診断されたとき」(2022 年 9 月 21 日閲覧)

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/article/351/>

東京大学高齢社会総合研究機構、「東大がつくった高齢社会の教科書 長寿時代の人生設計と社会創造」、ベネッセコーポレーション、2017 年

日本環境教育学会、小玉敏也、諏訪哲郎、棚橋乾、水山光春、「環境のラーニング・デザイン」、キーステージ 21 ソーシャルブックス、2019 年